生活の質を向上させる選択——アーキテクトビルダー

吉田敏一建築研究所 代表取締役 吉田敏一氏

1954年3月3日生まれ。福島県郡山市。

「鼎·四季亭 | バー RC (郡山市)、「CITY 咲田 | 共同住宅 鉄骨(郡山市)、「P-1024ケーキ and コーヒー IRC (郡 山市)、「コロニアルの歯科医院」2×4 (須賀川市)、「山 寺邸」1999年第10回須賀川建築賞「優秀賞」受賞 木造(須 賀川市)、「シーズハウスモデル展示場(FCT)」エアサイク ル住宅 木造(郡山市)、「くわの内科(クリニックタウンくわの 第一期工事) | RC (郡山市)

1984~2010年現在まで設計総数500件以上。

吉田敏一建築研究所

TEL / 024-939-0645 FAX / 024-939-0755

建 福島県郡山市桑野 2-37-21

E-mail / info@yoshida-ad.jp http://www.yoshida-ad.jp



身近なも う側面 ジンを取るため割高。 の面でも敷居が高 「家づくりを 住宅を設計事務所に頼むとなると予算 ゃ カ もあります。 材を発注 などが各業者 ハイクオリティな家は意外と 一貫して行うのは予算とい 11 田代表は教えてく して不要な経 通常の施工ではハウ イメ キテクトビル を上られ 弊社では直に施工 ージが への発注 るのです」 ?あるが 費を抑 でマ

クリストファー・アレグザンダー

(Christopher Alexander 1936年10月4日~)

ウィーン出身。都市計画家・建築家。ケンブリッジ大 卒。カリフォルニア大バークレー校教授。論文「都市 は木ではない」で、ル・コルビュジエやニュータウン運 動を批判。1967年、環境構造センターを開設。ポス トモダニズムの旗手。建築・都市計画の理論として パタン・ランゲージを提唱。作品に埼玉県入間市の 盈進(えいしん)学園東野高(昭和60年)など。



意味合

11

有ります」と、

同

研究所 は ければなりません。

私が設計だけでなく

貫して家づく

に関わる

0)

にそう

の最中にも調整などをきめ細かく行

わな

できるのだ。

「施主さまの

想

いを具現化

する

ラ 身が建築

オ

ーの家づくり

では、

設計者自

り施主の思いが反映され

た住まい

が実現

施工まで手がけ

ビル

として建築家が

るからこそ真の意味で施

て行うか

らこそできる

場の

が近くな

部にわ

田代表

『パタン・ランゲージによる住宅の生産』 (SD選書)

鹿島出版会 新装版(2013年9月11日) 2.520円

『パタン・ランゲージ』とは、アレクザンダーが、 人が心地よいと感じる空間を分析して、253 のパターン(形を作るルール)にまとめたも の。本書ではテクノロジー一辺倒であるポス トモダン社会での住宅建築のあり方に対し、 「建築家と施工は分離されていてはならな い(アーキテクトビルダー)」など、アレクザン ダーの思想とその生産の基本条件を提唱。

特集 生活の質を向上させる選択

職能と、

請負業者の職能の両面を兼

11

その二つの

的に責任を持ち「建築家

住まいづくりもさまざまな進め方があるが、アーキテクトビルダーと共に進めるという選択肢 がある。それは、画一的な住まいではなく、デザインや住み心地にこだわるなど、細部に までさまざまなニーズに応えてくれるフルオーダー住宅が実現できるのだ。

> 能を分離しては、 備えた」存在だと

健全な住まい

る。

9

まり の環

まいを建築する専門家が 設計と施工を統合し心地 境はできないと主張してい

ダ

が「吉田敏 ル そんなアー 建築研 ・キテ 設計から設計監理を手 ク 究 元所」の吉 ル ダ 田の 代表

が と施工の職能を兼 ルね

キテクトビル

ダ

とは、

ゥ

画家

建築家であるク

RC 工法の堅牢さと 木の優しさを兼ね備えた 「ハイブリッド住宅」

鉄筋コンクリート構造と木造を組み合わせる新工法 『ハイブリッド住宅』は100年にわたる住宅の耐久

Ź ト

グ

ダ

提唱したコンセプトで、設計と施工



Pick Up

性を備えた住まいを実現する。

は備える

客 様

\反映するため

計だ